

開講科目名 / Course	現代グローバル経済論B / Contemporary Global Economy B
時間割コード / Course Code	E1G10047_E1
開講所属 / Course Offered by	経済学部 / Faculty of Economics
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 第4クォーター / 4Q
曜限 / Day, Period	火 / Tue 3
開講区分 / Semester offered	第4クォーター / 4Q
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	大澤 健
科目区分 / Course Group	-
授業形態 / Lecture Form	講義
教室 / Classroom	
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	大澤 健 (経済学部 (教員))
授業の概要・ねらい / Course Aims	<p>21世紀の経済を理解する絵で、もっとも中心的な概念の一つが「グローバル化」です。グローバル化がなぜ起きているのかを、資本主義社会の基本的な性質と、その歴史から明らかにしていきます。</p> <p>資本主義社会というのは、「資本」=企業、会社を中心として経済が営まれる社会です。この資本主義社会の基本的な仕組みと特徴を理解して、それがどのように発展していくことで現在のグローバル化が起きているのかを理解できることを目指しています。この社会でもうひとつの重要な役割を演じるのが「国家」で、両者の関係から現在のグローバル化の意味と特徴、さらには問題点を理解します。</p> <p>Bでは、その後半部分として、資本主義社会が経験する1980年代からの変化と、グローバル化がどのようなものであるのかを説明します。</p>
到達目標 / Course Objectives	グローバル化の基本的な仕組みと特徴を理解するとともに、それに従って現在の経済現象を理解できる力を習得することを目指します。資本主義社会の特徴と、その歴史的な発展過程を知るとともに、そうした時間的な流れから社会を見る能力を習得できることが目標です。
教科書 / Textbook	柴田信也編著『政治経済学の再生』、2011、創風社
参考書・参考文献 / Reference Book	講義内で適宜指示する。
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	特に準備は必要ありませんが、日ごろから経済ニュースなどを見たり読んだりしておくことで講義が理解しやすいと思います。
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	リモート授業の場合、毎回出欠確認用の練習問題を行うのに30分程度時間外学修が必要になります。
その他連絡事項 / Other messages	今後の情勢にもよりますが、今のところリモートで授業を行う予定です。そのため、毎回出欠確認用の練習問題があります。
科目ナンバリング / Course Numbering	E338001GJ, E338002SJ
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	出欠確認用の練習問題が10点 (×7回) = 70点、最後に行う試験らしきものが30点、の合計で評価します。授業への積極的な参加姿勢は加点要素として考慮します
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	上記の通り、現在の経済の動きについてなるべく多くの情報を持っていると、理解が深まります。
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	現代グローバル経済論Aを履修してから受講することをお勧めします (Aから続きで聞かないとわからないと思います)。 また、市場経済論、経済原論を履修しておくことで講義の内容がぐっと理解しやすくなります。
オフィスアワー / Office Hours	火曜日午後3時から4時

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) / Time (date and time)	主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	学習方法と内容 / Methods and contents	備考 / Notes
12月7日	ガイダンス 資本主義社会の発展史の概観	現代グローバル経済論Aとの関連について説明します。	
12月14日	20世紀のシステム		
12月21日	社会主義国と発展途上国の苦悩		
1月11日	1980年代からの巨大な変化		
1月18日	NIEsの成長メカニズムと市場のグローバル化		
1月25日	金融市場と生産財市場のグローバル化		
2月1日	労働力市場と生産物市場のグローバル化		
2月8日	まとめとふりかえり	講義の内容を振り返りながら、試験に近いものを行います。	